



No.199 発行元・返還先：(公財) 箕面市国際交流協会

〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920
E-mail : info@mafga.or.jp Web : https://mafga.or.jp

報告

MAFGA のきょうだい

～「外国にルーツを持つ子ども」の卒業お祝い会を開きました～



↑ホットドッグをほおぼる子どもたち。

3月16日、コムカフェはいつものランチタイムとは違う顔ぶれで人が溢れていた。普段協会の子ども事業※にきている子どもや、近隣市や市内の小中学校に通う「外国にルーツのある子ども」が一堂に集まり、この3月に小学校や中学校を卒業する子どもを祝うのだ。あつまったのは、小学生13名、中学生7名。イベントは、いくつかの簡単なゲームで始まる。「バナナ鬼」や「せなかなぞり文字」。鬼に触れられたらバナナのポーズをする鬼ごっこ、背中にひらがなを書く伝言ゲームのようなゲーム。どちらも、複雑な説明はいらず、また、言葉を交わす必要もない。多言語・多文化で構成されるMAFGAの子どもたちの遊びには、誰もが参加しやすい仕組みを考えている。この日の食事は、卵とチキンのホットドッグとフライドポテトだ。これもハラルチキンを使用してムスリムの子どもが食べられるように考えられている。このように、ルーツや文化、言語環境がさまざまに異なる子どもたちだが、一緒に遊ぶさま、ホットドッグを頬張る姿は同じ家のきょうだいのような。

イベントの締めは、今春小学校や中学校を卒業する子ども4名のスピーチだ。少し照れながら自分の夢や入りたいサークル、やりたいバイトなどを明かしてくれる。それを見る年下の子どもたちは数年後の自分を重ねて話を聞いている。スピーチをする子どもの目も聞く子どもの目も同じようにイキイキしている。お互いに頼れる仲間をMAFGAの子ども事業で見つけてほしいと思いつつ、毎年卒業お祝い会を迎えている。(野崎)

※協会の子ども事業：毎週土曜、午前中に開催している学習支援の「さぼると」と午後で開催している居場所事業の「こどももっと」がある。



[2024年度テーマ]
半径5メートルの多文化共生

「子どもの言葉の世界から見えてくるもの」

2024年度の「めろん」では、「半径5メートルの多文化共生」という年間テーマを設け、協会の中で、あるいは書き手の身近な関係性の中で起こる多文化にまつわる出来事や経験から、読者とともに考えていきたいテーマについて問題提起していく。ぜひ、「自分ごと」として一緒に考えてほしい。

大阪大学箕面キャンパスが船場に移転してから、協会と阪大との連携の機会が増えた。2023年度は新たに複言語・複文化共存社会研究センター（愛称：阪大ふくふくセンター）が開設され、外国にルーツを持つ子どものサポートの分野で協会や箕面市教育委員会と阪大との連携を進めていこうと相談をしている。

先日、阪大ふくふくセンターの協力を得て、ある子ども

の言語能力を把握するためのDLA（外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント）を実施した。学校では先生たちが、その子どもの日本語習得がなかなか進まないことを心配し、どうしたらよいか悩んでいたのだ。DLAとは“Dialogic Language Assessment（対話型言語アセスメント）”の略。従来、子どもの日本語力をはかる際には支援者それぞれの「感覚」に頼ることが多かったが、DLAでは開発された手順と教

材を使って1対1の対話を行い、その結果を参照枠に基づいて評価することで共通の見立てをすることができる。また、子どもが持つ二つの言語能力は別々に存在しているのではなく、その根幹部分では知識や認知能力を共有しているとする「二言語共有説」に基づき、日本語能力に加えて母語の力や認知力など言語能力を総合的に把握する。また、O×式に学習到達度を評価することよりも、子どもの潜在的な学びの力を把握し、伸ばすことを目的としていることも大きな特徴だ。

今回のアセスメントでは、日本語とその子が家庭で使っている言語のそれぞれでインタビューを行った。対話型なので実施者は子どもの話をさえぎったり否定したりせず受け止める。子どもの力を最大限に引き出すために相手の発言を肯定的に受容し、忍耐強く話したり書いたりするのを待つ。

そのやり取りのなかでもっとも印象的だったことは、日本語でインタビューしたときの表情と、家庭言語でインタビューしたときの子どもの表情がまったく違っていったことだ。家庭言語のときは、にこやかで表情も豊か、話す内容や語彙も格段に豊富だ。その様子を見て学校関係者からは「この子はこんな表情をするんだ！」と驚きの声が上がった。日本語と日本文化の環境のなかでは、見えていなかった子どもの世界、子どもの力が周りの大人にはじめて認識されたのだ。そこにあった断絶の深さと、それが繋がったことの重要性との両面において、この瞬間の持つ意味は大きい。インタビューをした研究者からは、家庭言語ではコミュニケーションの力が豊かにあることが指摘され、その言語の力を育みながら日本語という別の言語に繋いでいくための取り組みについて提案があり、サポートの具体的な検討が行われた。

日本語ですべてが進んでいく日本の学校現場では、「日本語ができない」ことはすぐさま「課題」として認識されるが、子どもが持つほかの力（また困難）は存在さえ気づか

れにくい。そうなる学校関係者にとっては、子どもが自分の力を駆使してこの世界に向き合い、静かに、ときには騒がしく、格闘していることを把握したり、その意味を理解することも難しくなる。こうした環境に対して、DLAは周囲の人たちが子どもが持つ力を把握し、子どもの側から見た世界を理解していくことを助けてくれる貴重なスキームだ。

DLAは言語に関するスキームだが、その基礎となる人間観には、協会がめざしてきた事業づくりのコンセプトと通じるものがある。人はそれぞれに力や可能性を持っているが、日本社会という言語的、文化的環境のなかでは、マイノリティとされる人々が持つ言語的、文化的な力がその存在に気づかれ、評価されることはとても少ない。それは個人の人生を制約すると同時に、地域社会の可能性をも制約している。

様々な場面で出会う人々との交流を通して、協会は一人一人が持つ豊かな可能性が活かされる地域社会をつくりたいと願いながら事業づくりを続けてきた。それは（ちょっと偉そうに言ってみるなら）、DLAの基盤にもなっているバイリンガル研究の世界的権威ジム・カミンズ教授（トロント大学）の「言語資源、経済資源、文化資源としての母語・継承語」の概念を地域づくりに活かした形ともいえるだろう。

シェフたちと運営してきたcomm cafeや小学校で多文化理解の授業を行うプログラム、そのほかにも協会は大小さまざまな「活躍」の形をつくるべく沢山の人々と試行錯誤している。だが、地域社会全体から見ればそれはまだ小さな試みであり、進むべき道は長い。今回のDLAで見えた視点を、もう一度、私たちの日々の取り組みに活かすと何ができてくるだろうか。どんな取り組みが浮かんでくるだろう。阪大ふくふくセンターとの連携を、そんな風に日々の多文化共生の地域づくりへとつないでいきたい。（河合）

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で40年の歴史～

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員

*バレエコース：「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Diploma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才～80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース：徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前(駅より30M)
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで スマートフォン・パソコンからの参加申込みも可能です。
URL もしくは二次元コードからアクセスして、各イベントのページから申込みください!

【申込み先】

☎: 072-727-6912 FAX: 072-727-6920 <https://mafga.or.jp>



チカノバ

チカノバオープニング企画第3弾

「デ コロニアル〜『植民地主義』の対極にあるもの〜」

- ①講演「在日ブラジル人による非行現象を考える」
◎ フェルナンダ・パウザッキ・ジ・モウラ (大阪大学 大学院生)
②映画『街は誰のもの?』の上映と監督トーク
◎ 阿部航太 (映画監督) ◎ 田中ルジア (プロジェクトコンストルイル代表)
◎ フェルナンダ・パウザッキ・ジ・モウラ (大阪大学 大学院生)
③写真展とトーク「アフリカから南米への移住と植民の歴史」
◎ ロジェリオ・アキチ・デゼン (大阪大学大学院 特任准教授)
④カポエイラステージ
◎ 窪山武 (カポエイラ・メストレ)

4/6 (土)

- ① 10:00-12:00
② 13:30-17:00

4/7 (日)

- ③ 10:00-12:00
④ 14:00-15:00

定員: ① 40名 ② 40名
③ 40名 ④ 30名

※3月号掲載時より、定員を一部変更しています

場所: チカノバ (箕面市立市民ギャラリー)
箕面船場阪大前駅・改札階

料金: ① 660円 ② 1,100円

③ 660円 ④ 660円

(いずれもガラナジュース付)

申込み: QRコードから



チカノバ

キューズリビング

食でつながる、このひと、この世界

地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに試食や試飲を交えながら、文化や経験を紹介します。今回は、協会の英会話講師でもある東堂マリナさんを迎え、スロベニアの文化をひもときます。

- ◎ 講師: 東堂マリナ (スロベニア出身)
◎ コーディネーター: 崔聖子 (コムカフェ・アドバイザー)

4/30 (火)

- ① 10:30-12:00
② 13:30-15:00

定員: 各5名 (要申込)

場所: キューズリビング (みのおキューズモール)

申込み: QRコードから

参加費: 550円



Q's SMALL

屋台イベント

comm cafe 11周年記念 屋台イベント

オープン11周年を記念し、comm cafe シェフから感謝を込めて、手ごろな価格で世界のスナックが並びます。メニューなど、くわしい情報はコムカフェ Facebook、Instagram で順次お知らせします! (裏表紙のQRコードからアクセスしてフォローしてお待ちください)

5/11 (土)

11:00-15:00

場所: 箕面市立多文化交流センター
comm cafe

申込み: 不要

参加費: 入場無料 (飲食・雑貨販売あり)

comm cafe

説明会

2024年度 第一回ボランティア説明会

2024年度から、協会で新たにボランティアを始めたい人を対象に、年3回 (5月、9月、2月) 説明会を開催します。協会の紹介や、対人支援するにあたってのポイントなどを、ワークショップなどを交えて説明します。

5/25 (土)

13:00-14:30

定員: 20名

場所: 箕面市立多文化交流センター

申込み: QRコードから

参加費: 無料



2024年度 賛助会員募集中!

- ① 税額控除が受けられる個人寄付会員 (3,000円) と、法人会員 (10,000円) があります。
② インターネット上からクレジットカード決済での入会手続きが可能です。
※会員更新は、4月以降、箕面市立多文化交流センター窓口でも承ります。

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグワ ムンフヤスガラン、中村由紀、鳥羽山良平

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得

昭和45~47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: ☎562-0012 箕面市白島2-2-30 電話/FAX 072(721)4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

こちらは、多文化交流センター(小野原)コムカフェのメニューです

4月
April

comm cafe ランチカレンダー

《簡易版》

水～土曜

9:30 - 11:30 朝カフェ
11:30 - 14:00 日替わりランチタイム (¥990)
14:00 - 17:00 午後カフェ



ホームページ



Facebook



Instagram

日・祝日

9:30 - 10:00 カフェタイム
10:00 - 13:00 世界の朝ごはん (ドリンク付¥770)
13:00 - 17:00 カフェタイム

comm cafe TEL:072-734-6255 (予約もこちらから！)

ス… スナック & スウィーツの日 1… カフェで開催するイベント

月	火	水	木	金	土	日
1 休館日	2 店休日	3 店休日	4 カビタさん 《インド》	5 ノックさん 《タイ》	6 チノさん 《タイ》	7 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》
8 休館日	9 店休日	10 ティティさん 《ベトナム》	11 ナースさん 《インド》	12 ホルマーさん 《モンゴル》	13 店休日	14 ス MAFGA スナック
15 休館日	16 店休日	17 ファルザナさん 《バングラデシュ》	18 山口さん 《中国》	19 ヤスミンさん 《バングラデシュ》	20 ティさん 《ベトナム》	21 世界の朝ごはん ジェニーさん 《シリア》
22 休館日	23 店休日	24 ス MAFGA スナック	25 ス MAFGA スナック	26 洪さん 《コリア》	27 店休日	28 世界の朝ごはん ニダルさん 《シリア》

29

休館日

30

店休日

おしらせ

4月から店休日を水曜から火曜に変更します。
毎週水曜は営業しますので、引き続きよろしくお祈いします。

- 店内メニューもお持ち帰り可能です。
- メニューやシエフは変わることもあります。
- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、お気軽におたずねください。



エスペーロ
能勢
espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00～17:00

<http://espero-osaka.com/>

指定管理者：(公財) 箕面市国際交流協会

ギャラリー・営業日：水～日曜日 10:00～21:00

カフェ営業日：水～土曜日※ 11:00～21:00

※日曜日はイベント時のみオープン

「フード」×「アート」×「ハート」をテーマに、3/23(土) オープン!



ホームページ



Facebook



Instagram

北大阪急行線・箕面船場阪大前駅 改札階(地下3階)
(〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー)
TEL:072-734-6711 (ギャラリー) / 072-734-8722 (カフェ)
FAX:072-734-8732 Email:chikanova@mafga.or.jp